

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
作品研究											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	袴田哲郎			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
<p>「作品」を人の手によって意識的に生み出されたモノやコンテンツとして捉えている。他者が制作した「作品」を通じて他者の想いを慮り、また「作品」を通じて自分の視点を明確にして、考えや思いを他者に伝えられることはクリエイターとしての第一歩である。作品を通じて作者と、そして他者とのコミュニケーションを行っていくことを目的としている。</p>											
到達目標											
<p>学生一人一人が注目すべきデザイナー・作品をセレクトし、コンセプト・制作意図・試作背景を深掘していき発表する。学生個々人が今後の指標となるデザイナー・デザイン作品を確定していく。</p>											
授業方法											
<p>グループワークを通じて展開する場面も多くある。与えられた課題テーマに対して、積極的に意見交換をすることが求められる。グループによる意見交換後は、クラス内へ発表をしていく。発表の方法は、ただ口頭で展開することとまらない。視覚的な効果を含み、プレゼンテーションすることを求める。また、最終課題は個々人の研究を成果として発表する。</p>											
成績評価方法											
<p>課題40% 課題を総合的に評価する。 レポート20% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 成果発20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。 平常点20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業に出席するだけでなく、クリエイターとして興味を持って授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。作品を多面的に見ることで、ワンパターンの思考から、柔軟な見方・考え方ができるように心がけること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。</p>											
教科書教材											
課題毎に資料を配布する。参考書は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス										
第2回	サンプル例の提示1										
第3回	サンプル例の提示2										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

プロダクトデザイン科

作品研究

第4回	学生による研究発表1
第5回	学生による研究発表2
第6回	学生による研究発表3
第7回	学生による研究発表4
第8回	学生による研究発表5
第9回	研究成果前半チームの振り返り
第10回	学生による研究発表6
第11回	学生による研究発表7
第12回	学生による研究発表8
第13回	学生による研究発表9
第14回	学生による研究発表10
第15回	まとめ・振り返り